



【女子500㍎】40秒09で4位だった金井愛未(八学大)
=YSアリーナ八戸

女子500 金井(八学) 4位

女子1500 木村(八学) も

スピードスケート

長根ファイナル

スピードスケートの今季最後を締めくくるYSカップ長根ファイナル競技会が8日、YSアリーナ八戸で開幕し、6種目を行った。青森県関係は女子の500㍎で金井愛未、1500㍎で木村映映(以上八学大)がそれぞれ4位に入った。

最終日の9日は同会場で男女の1000㍎、3000㍎と男子の1㍎を実施する。(桑田友人)

【男子】

▽500㍎ ①村上右磨(高堂建設) 35秒46 ②大島(オカモトグループ) 35秒74 ③椿(滋賀県スポーツ協会) 35秒83 ④川目(同) ⑤

許(新神戸スピードゼミ) ⑥山中(電算) ⑦石岡良介(下長中出、日大)

▽1500㍎ ①三井晃太(専大) 1分50秒01 ②船崎(明大) 1分50秒60 ③久保(オカモトグループ) 1分51秒36 ④松田(高崎健康福祉大) ⑤辻本(三重県スポーツ協会) ⑥由井(明大) ⑦山本大史(八戸市協会)

▽500㍎ ①土屋良輔(モリド) 6分27秒61 ②伊藤(白銅) 6分32秒92 ③小川(栃木県スポーツ協会) 6分33秒19 ④菊池(専大) ⑤遠藤(恵那市体育連盟) ⑥伊藤(長野県競技力向上対策本部) ⑦佐々木海地(八戸西高) ⑧法入

【女子】

▽500㍎ ①久保杏奈(JT B) 39秒47 ②松島(富士急行) 39秒68 ③曾我(日本ハウスH&R) 39秒79 ④金井愛未(八学大) ⑤村山(都市大塩尻高) ⑥大岩未奈美(ライフーズ)

▽1500㍎ ①小坂凜(KHネオケム) 2分1秒34 ②宮川(日体大) 2分2秒25 ③鈴木(早大) 2分3秒78 ④木村映映(八学大) ⑤新田(博慈会) ⑥山本(北海道大樹中)

東大) 7分12秒32 ②大会新②ウイリアムソン(小鍛冶組) 7分25秒64 ③野明(立大) 7分26秒84 ④前田(アイチスケート部) ⑤寶来(同) ⑥瀧上(群馬トヨペット) ⑦近藤杏菜(八学大)



【女子1500m】2分4秒11の自己新で4位に入った木村咲映（八学大）

「スタートが遅い」

○：女子500mの金

井愛未（八学大）は仙台市出身。40秒09で4位。「好み」の種目で自己新を目指したが超えられず「悔しい。1、2歩目でつまずいてしまった」と唇をかんだ。

今季は初めて全日本選手権に出場したほか、自己新を数度塗り替えた。「タイムを縮められてうれしかった」。成長を実感した1年だった。

一方で「うすうす感じていたが、トップクラスの選手と比べるとスタートが遅い」。この日も重圧で初手にミスが出た。9日の最終日は「得意」とする1000mに出場する。「今季最後のレースなので自己新を出して、できるだけ上の順位を目指したい」。新年度に大学4年生となるスケ

ーターは来季を目標として切り替えていた。

「いい展開」で自己新

○：「今季の中では、いい展開でレースができた。女子500mの木村咲映（八学大）は北海道幕別町出身。自己新の2分4秒11で4位。「うれしい気持ちもあるが、4秒を切りたかった」と複雑な表情を浮かべた。

外側からのスタートで、最初と最後の1周はバックストレートで相手を目標に、伸びのあるスケットを披露。実力者が集まった大会にも臆せず、上位に入った。

ただ、目標がなくなる中間の2周目の滑りには不満げな表情で、「トップスピードをいかに案に出すか。そこが足りて

いない」。

全日本選手権出場の権利を獲得できなかった今季。「後悔しないようにプレベルの舞台に立つと夏の練習を頑張りたい。」誓った。

大学最後の1年間でトッ